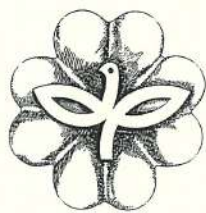


令和5年 長野市民生委員児童委員協議会 第52号



# 民児協ながの

発行 長野市民生委員児童委員協議会  
会長 伊藤篤志  
編集 広聴広報委員会

長野市緑町1714-5  
長野市社会福祉協議会内  
電話 026-225-1234

## 長野市民児協新体制スタート

### 委嘱状伝達式挙行

昨年12月の一斉改選により全市で864人の委員が委嘱されました。この内、主任児童委員は77人でした。委嘱状伝達式は11月25日に開催され、荻原健司市長から地区代表に委嘱状が伝達されました。

市長挨拶では「この度ご就任の皆様には、委員を快くお引き受けいただき感謝いたします。これから3年間で活躍いただきますが、長年培われてきた多くの経験と知識、人脈は誠に心強く、ご活躍をご期待申し上げます。」

近年、人口減少、核家族化の進展等社会構造の変化、感染症拡大に伴う人間関係の希薄化、地域社会と人々の関係性が変化するなど、地域福祉を取りまく状況、課題は多様化・複雑化しています。地域の方々の最も身近な存在であり、地域に精通している委員の皆様



市長より委嘱状伝達

令和4年4月からは、子育て、子育て、教育までに関する総合相談支援センター「あのえつと」をスタートさせました。委員の皆様にもご活用いただきますようお願い致します。」と激励されました。

委嘱状受領者を代表し、伊藤篤志会長から決意表明がありました。

「只今委嘱状を頂き身が引き締まる思いです。微力ではありますが、地域の福祉の向上にこれより3年間精一杯お手伝いさせていただきます。抱える人々が増加する中、常に高い人権意識を持ち、あらゆる生活上の相談に応じ、誰からも信頼される存在になりたいと決意を新たにしたいところです。」

があり、地域に精通している委員の皆様が、全委員の団結のもと、支援を必要とする方々の為に、行政、関係団体、地域の皆さんと手を取り合いながら、地道な支援活動を展開していきたいと考えております。これまで以上のご支援・指導を賜りますようお願い致します。」と

述べられました。同日、地区会長が開催され、長野市民児協の役員を選出が行われ、次の方々が就任されました。

#### 【長野市民児協の役員】

会長 伊藤篤志(松代)

副会長 中澤敏子(三輪) 酒井國夫

(共和) 春日喜美男(中条)

理事 山田治子(第四) 若麻績茂伸

(古牧) 徳竹貞夫(浅川) 柳沢久

子(安茂里) 清水久美子(中央)

原丈夫(更北) 岩月正一(豊野)

監事 深澤悦子(長沼) 早川英二

(幸井)

地区会長 塩澤一郎(第一) 黒岩修

治(第二) 宮川親光(戸隠) 松澤

日出男(鬼無里) 大矢康子(第三)

小林澄子(第五) 小林聖一(吉田)

村田逸子(芹田) 土屋修一(大豆

島) 今井寛明(朝陽) 盛田千晴

(古里) 関屋恭子(柳原) 荒井美

恵子(若槻) 西山美佐男(小田切)

渡邊和代(七二会) 宮澤寛(信州

新町) 宮崎澄江(塩崎) 田中美

枝子(川柳) 金木茂文(東部) 小

山裕子(信里) 大田敬文(信更)

平林友子(大岡) 小宮山泰典(若

穂) 小泉博司(川中島)

専門部会長 高齢者福祉部会・岩下

秀雄(吉田) 障害者福祉部会・前

澤研司(信州新町) 児童母子父子

福祉部会・石田三千夫(松代) 主

任児童委員部会・竹田孝司(芹田)

広聴広報委員会・小林淑朗(安茂

里)

### 1期目委員研修を受講して

柳原地区民児協 大文字ゆう子

柳原地区では、2月7日に1期目の方を対象に、DVD動画の視聴による研修を行いました。

講師は、長年福祉に携わってこられた泉恵造氏。民生・児童委員創設100年の歴史と関連法令、制度の歩みについて説明がありました。

大正時代の方面委員制度は、市町村小学校区域に於ける貧困調査が始まりであったとのこと。昭和になり戦後の民生委員への転換、児童委員の誕生そして両者は兼務とされ、今に至る経緯については、とても勉強になりました。

次に、気づく編・描く編、そして

### 会長研修会開催

古牧民児協会長 若麻績茂伸

講師・市川一宏氏（ルーテル学院大学教授・学術顧問）による「単位民児協の機能の強化を目指して」でしたが、今回は初の試みとして各会長にDVDを配布しての個人聴取と、長野市生涯学習センターでの講義動画視聴の方式で行いました。

又、動画視聴後には、県内各地と結んでオンライン情報交換会をズームの形で行いました。

県内では、地区会長295人の内、1期目民生委員を委嘱されて会長になった方が35人、又191人が会

行動実践へとの説明でした。動画は一方的に聞くだけでなく、個人で考える時間が与えられて、考えを整理書き留める作業があり、受講内容はじっくり心に沁み込んでいきました。

「自分なら何ができるか」を考え一つずつ活動していきたいと思えます。そして、皆さんと支え、支えら

れるよう共有していきたいと思えます。



動画を視聴

## 民生児童委員研修報告

### 主任児童委員研修

主任児童委員部会長 竹田 孝司

長経験がないという状況もあり、今後の民児協の切り盛りや定例会の運営、新人の育成、コロナ禍での活動等について研修しました。

県主催主任児童委員研修は、コロナ禍での密を避けるため、DVD及びWEBサイトの視聴により行われました。委員同士の情報交換については、オンライン情報交換会の形により、他の市町村とはZoomを使い意見交換が行われました。

13地区の会長から質問・報告があり、それぞれについて市川氏からお答えを頂きました。

研修会では、立川市の元主任児童委員で主任児童委員制度の立ち上げにも尽力された高橋久雄氏より、「主任児童委員の役割について学ぶ」の題で、新しく主任児童委員になられ

### 2期目以上委員研修会開催

第二地区民児協 大森 英世

3月3日、「しなのき」で2期目以上委員の研修会を、DVDの視聴形式で行いました。

上野谷加代子氏（同志社大学名誉教授）を講師に、箕輪町民児協の皆さんが動画に出演され、事例学習の実践例を示されました。

「9050問題への対応」事例を通して、グループで学習する時のポイントとして二つの指摘がありました。一つは自分が気付かなかった点について、相手の意見を批判しない。二つ目と感じ方・考え方を話し合っ

て学びを深め合い、輪をつくっていきなるといことです。

事例学習ではまず個人として、本人（90歳）、その息子（病歴あり）やその孫の立場で考え、次にグループで話し合い、様々な意見の交換をする重要性を体験出来ました。

事例に似たケースが具体的に生じ、個人では思いつかなかった場面に出会うことも考えられます。民生委員には「助ける能力」はもとより、「助けられる能力」も、日頃の活動に必要なであることを学び、充実した研修となりました。



グループワークを実践

た方々に、委員の心構えや目的、つなぐべき関係機関について、説明いただきました。

1期目の委員に対する基本的な事のほか、2期目以上の委員にとって自分の役割と目的が明確となり、今が出来て

いる事、今後取組むべき事が明確になった研修でした。



動画で学び情報交換



情報交換会

# 地域における福祉活動

浅川地区民児協会長 徳竹 貞夫

浅川地区は、人口が7千人余りですが、飯綱高原麓の中山間地と平坦地の住宅地域に2分され、特異性のある19区よりなる広大な地域です。12区が中山間地に点在しています。人口密度や生活環境面で平坦地と大きな違いもあります。

地区全体では、2人の主任児童委員を含め、16人で活動しています。

中山間地における活動では、3人の委員がそれぞれ複数の集落を担当しています。

過疎化と高齢化が進む中で、買物の支援や庭木の手入れなど、これまでの活動の範疇を超える援助も必要となっている状況です。冬期の除雪作業では、民生委員と区長との連携のもと、有志の皆さんの協力を得て実施していますが、大変厳しいものがあります。

地区の高齢化率は39%に達し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で健康で安心して過ごせる地域社会を構築するためには、日頃の関わりや



様々な活動の展開が不可欠となっています。

高齢者対象のふれあい会食やサロン活動、一人暮らし高齢者の旅、温泉施設での集いの開催など地区社協とも連携し活発に実施しています。

様々な形で顔と顔を合わせ合った日々

も、突然の新型コロナウイルスの感染拡大で失われました。中山間地域と平坦地域の住民交流の機会も失われてしまいました。

今となればとても貴重な機会でした。現状をそのままとするのではなく、交流を再開し何かできないかと、皆で知恵を絞りました。

徹底したコロナ感染症対策のもとで、リフト付バスでの観光施設や資料博物館見学を行いました。多くの方に参加いただき、孤独解消の一助になりました。

課題はまだまだ山積しています。安全な地域づくりのため活動を続けたいと思います。

## 発信・わが民児協

# 誕生日訪問に思いをこめて

小田切地区民児協会長 西山美佐男

小田切地区は、長野市西部の典型的な中山間地域です。地区では高齢者のみの世帯やひとり暮らしの世帯の割合が非常に多くなっています。令和元年度より「誕生日訪問活動」を始めました。80歳以上の方を対象として、いつまでも健康な毎日を過ごしていただき、地区で

支え合いながら暮らしてもらいたい、との願いを込めています。訪問活動における「見守り」と「会話」を通じて、該当者の生活環境や健康状態の把握に努めることはもちろんのこと、孤独感の解消に繋がればと考えております。



委員全員でパステル画作成

「月々の題材の絵手紙」を4年間お届けしました。作成者の方々には無理なお願いをしましたが、一方で毎日の張り合いになったのでは…とも思っています。令和5年度は、いよいよ地区内でプレゼントの作成をお願いできる方が尽きたこともあり、委員全員で時季折々の題材で「パステル画」を描き、フォトフレームに入れてお届けしようとして決めました。パステル画を習っていた委員を先生に、あまり絵心とは無縁の委員全員が2月より制作を開始しました。主任児童委員2人を含む7人の委員全員で、約160人の対象者にお届けすべく、1年間頑張つて継続してまいります。

人口の減少により、周囲に触れ合うことのできる人が少なくなっています。また、コロナ禍で家族や知り合いの方々の来訪が少なくなったリ、サロン活動などの会合も自粛をしなければならず、寂しさを感じているものと思われまます。地区にお住いの方々が、いくらかでも気持ち明るく前向きになるような活動を続けてまいります。

「お祝いカード」とささやかな「プレゼント」を持参しています。プレゼントは、趣味などで芸術や手芸に長じている地区内にお住まいの方々にお願いし作成していただきました。「ペーパークラフトコースター」「レース編み花瓶敷」「アクリルたわし」

### 生活再建を支援

安茂里地区民児協 小林恵理子

Aさん(67歳)、一人暮らしの方のケースです。委員委嘱を受け、地区の見守り活動を始めました。

私の担当地区には県営住宅もありAさんはその2階にお住みの方。

年明け後の見守りで、住宅管理者とご近所の方からの至急の連絡を要する貼り紙がドアに表示されていました。ご近所の方にお聞きすると下のお部屋に水漏れがあり、Aさんとは連絡がとれない為、水道は止水され、中では水も使えない状況とのこと。電話もなく、玄関チャイムも壊れ、ドアを叩いても固く閉ざされ、応答はありません。沢山の郵便物も取り込まれず、玄関周りもタンクなどが雑然と置かれていた状態でした。

姿の見えない日が何日も続いているとのこと。無事を祈りつつ早く安否確認をと思い、委員に相談し一緒に見守りをお願いしました。

そして1月17日、交番に相談し3人の警察官が、駆けつけてくれました。しかし、ドアはすぐには開きません。中央署とも相談し、消防車・救急車も出動いただきました。

親戚の方にも同意をいただき、2階のベランダまで梯子を伸ばし、消防隊員が昇り窓を開けました。

本人は無事とのこと。そして玄関を開けてくれました。区長さんにも連絡し、一緒に安否確認も出来ました。中ほどの部屋も高くゴミの山。そしてタバコの吸い殻の山を目の辺りにし、火事の心配から命の危険を感じました。この間に、住宅の管理者、住宅供給公社にも連絡し、現場にきていただきました。

Aさんのお顔が見れたことに安堵しつつも、駆けつけた方を見守りの中で生活再建のチャンスだと思い、Aさんの気持ちに寄り添い相談に乗ることを伝えました。ゴミの片付けを促し、水道工事を提案すると、民生委員さんにお願ひしたいと腕を握りしめ安心した表情を見せ、無事了解を得ました。

ゴミ問題解決に経験のある前任の委員の方に、片付け業者を紹介いただき、翌日見積書作成を依頼。経過を地域包括センターにも報告。

18日には業者の見積書提出を受け、2トント車3台によるゴミの搬出に本人も同意してくれました。

地域包括センターの職員にも来ていただき、今後の支援継続をお願いしました。

23日に専門業者のゴミ片付けの作業開始。その後、水廻りの工事の依頼など嬉しい日々となりました。沢山のひとりの繋がりで生活再建に踏み出すことが出来ました。

これからも見守り活動を大切にしてください。地域の方が安心して暮らせるよう努めていきたいと思えます。

聴くに早く 怒るに遅く 民生心「腫」にあり 全体研修会開催

全体研修会が、2月24日長野市芸術館で開催されました。研修では、チーミングナビジャパン代表小林宏繁氏から「人と人との繋がりは、腫と耳と言葉から」と題して、基調講演をいただきました。



講師 Teaming Navi Japan 代表 小林宏繁氏

社会福祉の最も重要な仕事である

1 「聴く」の三つの基本は、笑顔・安心して話せる 印象を与える

2 頷き・相手の仕草や表情を 合わせる

3 相槌・気持ちが上向き・ 話したくなる

この三つのことから、聴く力を身につけることが大切ということ。これからの民生委員の活動に、大変参考になる講演でした。

### 編集後記

後半は、長野市保健福祉部地域包括ケア推進課課長補佐吉澤康子氏より、「こんな時は、つないでみませんか? 包括支援センターへ」と題してお話をいただきました。長野市には、21か所の地域包括支援センター、4か所の在宅介護支援センターが開設されており、福祉や保健、医療などに関する高齢者からの総合相談が、4万件ほど寄せられているそうです。また、認知症の相談もコロナ感染以前より1.5%程増えているとのお話で、具体的な相談事例等のご紹介もあり、大変有意義なお話でした。

この度の一斉改選により広聴広報委員が次のメンバーになりました。

委員長

小林淑朗(第5ブロック安茂里)

副委員長

若麻績茂伸(第3ブロック古牧)

中澤あさ子(第6ブロック篠ノ井中央)

委員

大森英世(第1ブロック第二)

浅岡松代(第2ブロック吉田)

齊藤雅子(第3ブロック芹田)

倉石嘉奈子(第4ブロック柳原)

二本松伸子(第7ブロック川中島)

これまでと変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。